

地域医療研修は、研修制度が始まって以来ずっと義務付けられてきた重要な研修項目ですが、これまで様々な形の研修を行ってきました。

長く、戸塚の開業医の先生の所で見学を中心とした研修でしたが、2020年度に研修内容の見直しがあって、戸塚区・泉区の地域に密着した病院での研修となりました。

その中で、数年前から行っていたへき地・離島医療を経験するために始めた鹿児島県の奄美大島での研修が、COVID-19による移動制限で難しくなっていました。

それでもへき地医療を知っておきたい、という希望が初期研修医から出てきたため伝手を辿って長崎県の平戸市にある平戸市民病院への研修が実現しました。

平戸市民病院は何とんでも全国から研修医が集まり、総合診療を核とした研修が魅力の病院です。スケジュールを調整して、なんとか3名のお引き受けを頂き、その一人目の研修が先日終了したところです。



こちらではなかなかできない研修や、体験をしてきてくれたようです。数名の常勤医師で地域を支えるのは生半可な気持ちじゃできないですよ。離島の様子も見てきてくれました。帰朝報告（って外国じゃないですけど）待ってますね。

お土産を私にも持ってきてくれました。  
おっと賞味期限が近いから早く食べよう。